

清瀬高校 平成30年度【現代社会】年間授業計画

【教科】公民科

【科目/講座】現代社会

【対象】第3学年 1組～7組

【単位数】2

【使用教科書】

高校現代社会（実教出版）、最新図説現社（浜島書店）

【使用教材】

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	2 現代の経済社会と政府の役割 (1) 現代の市場と企業のはたらき	市場経済について理解させ、現代の企業の成立と発展について理解させる。 資本主義社会の基本となっている市場の自動調整作用、需要・供給の法則を理解させる。 市場メカニズムは万能ではなく、むしろ現代ではそのように作用することの方が稀であること、そして、それがなぜであるのかを考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	2
	(2) 国民所得と景気変動	経済指標にはどのようなものがあるか理解させマクロ経済の基礎を理解させる。 三面等価の原則を説明しながら、経済全体の流れについて理解させるとともに、グリーンGDPやNNWといった、新しい指標が作られている動きがあることを理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
5月	(3) 金融機関のはたらき	金融の役割、金融の自由化、国際化について理解させる。 資金の融通に銀行が参加することによって、実際に存在する以上のお金を流通させるしくみについて理解させる。 日銀や政府の役割を理解させ、租税の意義を考えさせる。 金融政策とは、誰がどのようなことをすることなのか、その目的と方法、実際の効果はどの程度なのかを理解させる。 金本位制度と管理通貨制度という二つの通貨制度を比べながら、現在の制度の特徴、欠陥点の理解を深める。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	3
	(4) 政府の役割と租税	現代の経済は、家計・企業・政府の3つの経済主体から成り立つが、その中で政府部門の役割を理解させる。 ケインズ主義と政府の役割の増大について考えさせる。 政府予算、財政投融资、特別会計などの抱える問題点について考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 定期考査、レポート提出	4
6月	3 経済活動のあり方と国民福祉 (1) 日本経済の歩みと産業構造の変化	戦後の日本経済の民主化の歩み、高度成長からバブル崩壊までの日本経済の歩みを理解させる。 戦後復興は順調ではなく、好況と停滞を繰り返しながら進んできたことを理解させる。 高度成長の要因について考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
	(2) 中小企業と農業 (3) 消費者問題	中小企業のめざす方向性や、日本の農業のおかれている現状や問題点について考えさせる。 景気の長期的停滞の下で、困難を抱える中小企業がめざすべき新しい方向性や国の政策について考えさせる。 主体的に自立した消費者になれるように考えさせる。 トラブルに対する処置方法を知ることが、自分を守ることや処置を知らない他人を守ることにつながることを理解させる。 様々な労働問題について理解させ、今後の雇用保障について考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
7月	(4) 労働問題と雇用の動向	労働者を保護する労働基本権を理解し、それが長い運動によって実現したものであることを認識させる。 労働基本権の現代における意義を考えさせる。 雇用のあり方が大きく構造転換していることを認識し、労働基本権保障の立場からの問題点を理解する。 労働のあり方や雇用保障が、今後どのようにあるべきか考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 定期考査、レポート提出	4
9月	1 現代の国家と民主政治 (1) 基本的人権の保障と法の支配	基本的人権がどのように成立したかを理解させ、意義について考えさせる。 基本的人権の発展の中で、国家の役割が大きく変化してきたことを理解し、現代における基本的人権の意義について考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
	(2) 国民権と議会制民主主義	基本的人権の尊重と国民権に基づき民主主義は行われてきたことを理解させ、普通選挙制のもとで運営される議会制民主主義の意義と課題を考えさせる。 政治権力を国民の意思に基づいて組織・運用する制度を採用した近代国家における権力分立の目的と意義を理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
10月	(3) 現代世界の政治制度	権力分立制のタイプについてその特徴を理解させる。 現代の民主政治はなぜファシズムなどの困難に直面したのかを考えさせる。 イギリス型の議院内閣制とアメリカ型の大統領制および民主的権力集中制の特徴を理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
	2 日本国憲法と国民生活 (1) 日本国憲法の成立	明治憲法と日本国憲法の制定過程について理解させ、日本国憲法の制定過程について理解させ、日本国憲法の成立の意義について考えさせる。 明治憲法と日本国憲法との比較を通して、憲法の運用が日本の政治や社会に与えた影響を考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 定期考査、レポート提出	4
11月	(2) 平和主義	平和主義の意義について考えさせ、日本の防衛政策や安全保障の現状を理解させる。 日本の再軍備と日米安保体制の関係について構造的に理解させ、日米軍事協力関係の強化について憲法9条とのかかわりの中から考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
	(3) 基本的人権の保障 (4) 人権の広がり	判例を適宜活用し、基本的人権の保障の意義について理解させる。 新しい人権が誕生してきた背景を理解させ、その課題について考えさせる。 憲法の保障する自由権の種類と内容について理解させ、現在の自由権保障の課題について考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
12月	(5) 人権保障と裁判所 (6) 政治機構と国民生活	司法権の独立の意義を理解させ、国民の司法参加の課題について考えさせる。 違憲審査権のしくみを理解させ、司法が人権保障に果たす役割について考えさせる。 国会の役割と議院内閣制の意義について理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	3
	3 地方自治と住民福祉	地方自治の意義、住民自治の意義、住民自治の仕組みについて理解させ、地方分権の動向について意義と課題を考えさせる。 地方政府のシステムと住民自治のしくみについて理解させた上で、憲法に規定された「地方自治の本旨」の意義について理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 定期考査、レポート提出	2
1月	2 現代の経済社会と政府の役割 (5) 社会保障の充実	社会保障の意味と必要性について理解させ、高齢社会化した日本のあり方を考えさせる。 各国の社会保障制度のあらましをつかませる。 日本の社会保障はどのような改革をせまられているか、年金、医療費、福祉について考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	2
	受験講座	受験対策	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解	4
2月	受験講座	受験対策	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解	4
	受験講座	受験対策	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解	4
3月	受験講座	受験対策	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解	2